



# 御在所の風



志布志市立田之浦小学校  
学校だより 文責：長野則子  
令和3年6月22日発行

教育目標 「心豊かでたくましい体をもち、自ら学ぶ『田之浦っ子』を育成する」  
めざす子どもの姿 【やさしく】思いやりの心をもち、相手を尊重できる子  
【かしこく】自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子  
【たくましく】命の大切さを知り、自ら鍛える子



## 「わかった」「できた」子供の笑顔



校長 長野 則子

6月6日(日)日曜参観を実施しました。2校時の授業参観では、保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様に、子供たちの学習の様子を見ていただきました。子供たちは、少し緊張した様子もありましたが、タブレットを使って発表する姿、友達と協力して理科の実験に取り組む姿、課題について考える姿など、各学年で熱心に学習に取り組む姿を見せてくれました。発表後の子供たちの「できた」という満足した笑顔、実験や問題を解いた後の「わかった」という笑顔を見ることができるとは、本当に嬉しいことです。今年度から一人一台整備されたタブレットを各自が操作しながら学習する様子に、参観された方々からは、「子供たちは、覚えるのが早いですね。」と驚きの声も。私たち職員も研修を重ねながら授業での活用を進めていますが、子供たちは学習で活用するなかで色々な使い方を見つけ、「先生、見てください。こうしたらできるんですよ。」と教えてくれます。本当に子供の力はすごいなと感じます。

今年度、学力向上の取組として、1時間の授業の中で「めあての板書・構造的な板書」「子供の思考を促す発問の工夫」「ペアやグループでの話し合い活動」「学習のまとめの確実な板書と定着の見取り」「ICT機器の効果的活用」の実践を行っています。今後も、子供たちの「わかった」「できた」の笑顔あふれる授業づくりに取り組んでいきたいと思えます。

基礎学力の定着には、その学年で学習する内容を確実に身に付けていくことが大切です。そのためにも家庭学習の習慣も含めて繰り返しの練習が必要となります。毎月、家庭学習強調週間を設けて保護者の皆様にも家庭学習や読書、ノーメディアデーなどの取組の確認をしていただいています。今後とも子供たちへの励まし・声掛けをよろしく願います。



ご参観ありがとうございました。

## 時を刻む 大きな古時計



「カチカチカチカチ・・・」校長室から職員室へいく途中、聞こえてくる振り子の音。田之浦小の玄関に入ると、1階の廊下にはとても立派な柱時計が掛けられています。柱時計の正面には校舎改築記念の文字。昭和28年に寄贈されたものです。これまで何度か修理され、今日も私たちに時刻を知らせています。

ゆったりと振り子を動かすこの柱時計は、長い年月にわたり時を刻み、田之浦の子供たちを見守ってきてくれたのだと感動を覚えます。学校のいろいろなものが新しくなっていますが、古いものを大事に使い続けることの大切さも教えてくれているようです。これからも本校の宝物として大切にしていきたいと思えます。